

## これまでの取組

### 【21～22年度】

○県内18地域で、若者によるワークショップと実践活動を行う

- ・若者と子どもによる商店街訪問イベント開催 (大仙)
- ・市町村合併で途絶えた市民運動会を復活 (北秋田)
- ・郷土の偉人 (小田野直武) の映画制作 (仙北) 等

### 【23～24年度】

○3ブロック及び全県単位での若者会議を行い、ネットワークの構築を図る

- ・地域の高齢者との交流会・座談会開催 (県北)
- ・秋田で活躍する若者を紹介する冊子作成 (県央)
- ・全県合同若者会議の開催 等

### 【25～26年度】

○全県ネットワークを活かした活動を展開する

- ・全県合同若者会議の開催
- ・市町村を交えた活動報告会の開催
- ・全県ネットワークを活かした新たな参加者を募るイベントの開催 (4か所同時開催)
- ・モデル事例集の作成 等

## 現状と課題

### 現 状

#### ○13の若者会議が活動中(メンバー290名)

県北、大館、北秋田、上小阿仁、能代山本、県央、由利本荘、大仙、仙北、美郷、横手、湯沢・東成瀬、羽後※2地域(鹿角、男鹿南秋)で、新たに立ち上げ予定

#### ○若者会議に関する意見(会員等)

- ・これまでになかった若者が集まり、語り合う場が増えてよかった。
- ・社会、地域に参画する若者の居場所づくりとなっていることを評価してもらいたい。
- ・地域を見直し、地域を思うきっかけになった。
- ・市町村や商工団体等との連携により、活動の幅が広がった。
- ・参加をきっかけに起業した。もっと発信できる人が増えればいい。
- ・話し合うだけでなく、もっとみんなで行動したい。
- ・活動に必要なもの…市町村・関係団体の協力、拠点、活動費用、リーダー、全県的なネットワーク 等

### 成 果

- ・若者が集まり語り合う「居場所」となっている
- ・若者が、地域に関心を持つきっかけとなっている
- ・若者相互が刺激し合い、成長する場となっている
- ・向上心を持ち、行動につなげる若者が育成されている
- ・「若者だけ」の枠を超えた地域活動が行われ始めている

### 課 題

- ・リーダー、拠点(居場所)、活動費用等の不足
- ・市町村との連携体制が脆弱
- ・全県的な若者団体のネットワークの不在
- ・情報発信の不足

## 今後の取組

「若者が主体的な生き方ができる社会を目指す」  
～地域の課題解決等に取り組む若者の活動を支援～  
(第2期ふるさと秋田元気創造プラン)

### 基本的な方向

若者の社会参加推進のため、地域で活躍している若者のネットワーク化を推進するとともに若

### 具体的な取組

#### 1. 地域の若者会議の組織強化

- ・代表者ほか核となる人材の育成(研修の実施)
- ・団体相互の情報共有の仕組みづくり
- ・規約の整備促進

#### 2. 地域の若者会議の活性化

##### ○市町村との連携の推進(マッチングを支援)

- ・市町村への若者会議の情報提供
- ・市町村と若者会議の連携成功事例のPR
- ・地域の元気創造のための取組への支援

##### ○他の若者団体とのネットワーク化

- ・活動の発表機会の提供
- ・先進的な事例(組織の維持運営方法、関係団体との連携方法、資金集めのノウハウ等)を学ぶ機会の提供

##### ○活動の周知・PR

- ・意欲的に地域課題解決に向けた取組を行っている若者団体の活動内容等を積極的にPR

##### ○青少年健全育成活動との連携

- ・青少年期から、地域を知り、愛し、自分が守るという意識の醸成